



# 学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒  
(徳) 正しく判断できる生徒  
(体) 心身を鍛える生徒  
<No.9> 平成29年12月1日

## さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡 2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)  
866-5789 (相談室)  
<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

### 貴い汗 やり抜く力

校長 今溝良司

木の葉もすっかり落ち、各地から初雪の便りが聞かれ、いよいよ冬の到来を感じられるこの頃です。さて、学習指導要領の変遷に伴い学校行事が精選される中、白幡中の長い歴史の中で一旦中止されていた「校内マラソン大会」が先月17日に復活を遂げました。以前から住宅が立ち並び交通事情も変化する中、学校周辺では実施できないことから荒川河川敷にあるレッズランド(一部秋ヶ瀬公園)の施設を借用し、女子3・3km、男子4・3km、ウォーキングコース1kmのコース設定のもと実施しました。長いコースですから安全面を考え保護者の方々に応援も兼ねて走路員の協力を呼び掛けたところ、お忙しい中、野上P会長をはじめ20名のご協力をいただき無事に終了でき、また、直接現地に応援に駆け付けられた保護者の皆様にも激励の言葉をかけていただき、生徒たちは嬉々として完走することが出来ました。大変有難うございました。

白幡中学校がマラソン大会を復活させた理由には、本校における教育課題のひとつとして生徒の体力向上があります。今年度、さいたま市の中学校では学習指導要領に定められた年間の標準授業時数(1015時間)に、年間15時間を各学校における学力向上策として設定し、本校では保健体育の教科を定め体力向上を図っています。主な取組として体育祭の朝練習や放課後練習、マラソン大会に向けた朝マラソン、もちろんマラソン大会当日もそのための授業としています。また土曜授業においても保健体育の授業を実施しています。

本市の細田眞由美教育長は、知識・技能等の学力に関する力「認知能力」に加え、学びに向かう力や物事をやり抜く力など学びの下支えとなる、いわゆる「非認知能力」を含めた力を「真の学力」と呼び、そのためには「非認知能力」の育成が大切とも言われています。私は、物事に向かう意欲こそ基本であり、それを支える気力・体力はどの世代にもまた誰にも必要な要素と考えます。今回のマラソン大会においても生徒たちは途中の苦しさや不安に打ち勝ち、全員が完走しました。フィニッシュラインに向かう真剣な表情や走り切った後の達成感や爽快感は何物にも代えがたいものであったと思います。今後も物事に真摯に向い、もてる力を存分に発揮し、額に汗して取り組む経験が多くあることを期待してなりません。